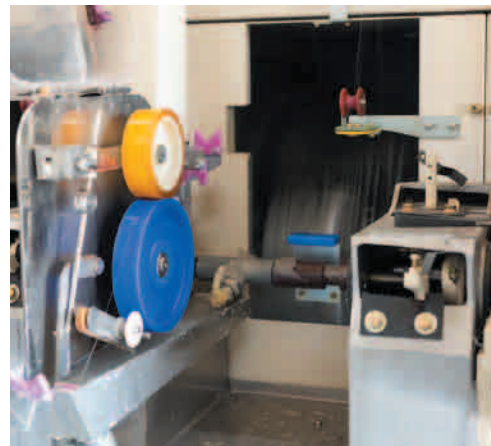


繊維素材加工の効率化を目指し 最新の糊付け機を導入



2

1

- 1／新たに導入したローラー糊付け機。自動化により大幅な作業効率化が可能に。
- 2／レーヨンの糊付けのため、ギアや糊を絞るプレートに改良を加え最適化した。
- 3／自動整経機でのバンド巻き返し作業。一貫した連続生産が行えることが強み。

糊付け工程の自動化で、自社での加工と生産性向上を実現。

株式会社林田は、糸の小売を行う糸商社。自動整経機や一本糊付機などの設備を有し、原糸の準備加工も請け負っている。原糸の糊付けはこれまで、産地組合職人が手作業で行っていたが、経糸整経までに多くの工程が必要なうえ、天日干しによる乾燥方法は品質が不安定だった。特に織ネームの原材料となるレーヨンは、吸水率が高く天候の影響が顕著。加えて職人の高齢化による廃業で、次なる担い手が見つからない状況にあった。

そこで、準備加工の一環として新たに糊付け加工に参入。ローラー糊付け機の導入によって、従来3工程あった糊付け作業は1工程に。さらに乾燥室で強制乾燥を行うことで

品質が安定。大幅な効率化と糸の品質安定が図られ、通年の製品生産に成功した。これまで経験的に行われていた手作業を機械で数値化できたことは、生産性の向上にも貢献。また、レーヨン資材向けに機械に改良を加えたことで、その他の弱い糸にも応用可能になった。

糊配合と機械調整の試行錯誤で培ったノウハウは、小ロットのサンプル製作にも活かされた。顧客の要望によって糊の濃度を調整できるようになったことで、受注機会の拡大や新商品開発による業務拡大にもつながっている。

注目すべき成果

糊付けの自動化により、 生産性が向上。

従来の方法による天日干しと巻き返しの工程を自動化によって省略できるため、50kgの糸を整経するまでに3週間かかっていた期間を、10日前後に短縮することに成功。予想していた月産量の倍の量が生産可能になった。

本事業による 付加価値

新たな糊付け加工技術を 新分野に応用。

導入により小ロットや弱い糸の加工も可能になったことで、繊維業界以外の産業資材系から試作品やサンプル製作の依頼が増加。緯糸向けの糸にも使用できるので、新しい商品開発も期待できる。

今後の展望

自社工場での加工を強みに、 販路拡大。

糸商社で自前工場を持つ業者は全国でも稀。強みを生かし、新規取引先の開拓も見据える。出荷量はレーヨン用経糸で現在年間2トン、の出荷量を2.7トンへ。広幅関連は機械の汎用化で現在年間0kgの出荷量を500kgへと拡大させていく。

ものづくり専門員から一言

知識ゼロの取り組みから生まれた 技術・ノウハウ。

産地組合のサイジング(糊付け)部門閉鎖を受け、産地崩壊を危惧した同社は、あらたな発想で地域に残すことを決意。経糸だけでなく、他社では手掛けていない緯糸への糊付けも可能となる機械を導入。小ロット対応や自然素材の活用も可能となり、産地を支える企業へ向かっている。

こんな会社です!

少数・短納期にも対応 生産強化で地元産業の発展に貢献。

当社はポリエステルレギュラー糸を軸とした先染め糸の見本帳を発行し、掲載する糸を1コーンから販売しています。多彩なカラーバリエーションと多品種を揃え、当日午後4時まで注文であれば即日出荷する即納体制を敷いています。加えて自社で行う準備加工は、小ロット糊付けや試作品製作から整経まで広く対応できる技術力が強みです。今後は全国シェアのほとんどを占める織ネームの産地・丸岡町の発展に貢献できるよう、さらなる生産体制の強化をはじめ、新たな分野への挑戦を続けていきたいと考えております。



「先染め糸見本帳」掲載の糸は常備在庫している。



製造担当
林田 尚平さん



本社・工場

株式会社 林田

代表者：代表取締役 林田 とよ子
設立：1975年(昭和50年)12月
資本金：1,200万円
従業員数：15名

事業内容：原糸加工・卸売り

本社：〒910-0027 坂井市丸岡町荒町25-1
☎ 0776-66-0897 FAX 0776-67-2024
E-mail : h-itoya@basil.ocn.ne.jp